

総合的な思春期・若年成人(AYA)世代の がん対策のあり方に関する研究

分担研究：AYA世代がん患者の妊孕性温存の
教育・啓発に関する研究

滋賀医科大学 産科学婦人科学講座
木村文則

2015－16年度に行った研究内容

- 2015年7月7日に滋賀がん生殖医療ネットワークを設立
(情報提供型ネットワーク)

目的: ①滋賀県内の患者、医療従事者への啓発
②滋賀県内の患者、がん治療者、生殖医療者の
ネットワーク化

実施内容:

- ①滋賀県内を対象とした教育・啓発用の資料作成
- ②滋賀県内の効率的な教育・啓発方法の考案

2017年度に行う研究内容

- 2015年7月7日に滋賀がん生殖医療ネットワークを設立
(情報提供型ネットワーク)

目的: ① ~~滋賀県患者治療従事者啓発~~ 啓発
② 滋賀県内の患者、がん治療者、生殖医療者の
ネットワーク化

実施内容:

- ① ~~滋賀県使用対象教育・啓発用啓発資料作成~~
② 滋賀県内の効率的な教育・啓発方法の考案

教育・啓発用の資料に関して

滋賀がん生殖医療ネットワークが作成した資料



滋賀医科大学医学部 産科学婦人科学講座



信頼と満足を追求する
全人的医療

[ホーム](#) [教室紹介](#) [受診希望の方](#) [医療関係者の方](#) [学生の方](#) [研修医の方](#) [お問い合わせ・リンク](#)



がん・生殖医療
ネットワーク
OF-Net Shiga

滋賀 がん・生殖医療ネットワーク (OF-Net Shiga)

[ホーム](#) » 滋賀 がん・生殖医療ネットワーク (OF-Net Shiga)

設立の背景と目的

受診案内
受付時間・休診日

アクセス
交通アクセスガイド



看護師募集
(看護部ホームページ)



病院再開発



研修医募集



滋賀医科大学

〒520-2192
大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学産科学婦人科学講座
TEL 077-548-2267(直通)
FAX 077-548-2406



OncoFertility
Network
shiga

みんなのハートで未来の扉を開こう

設立の背景と目的

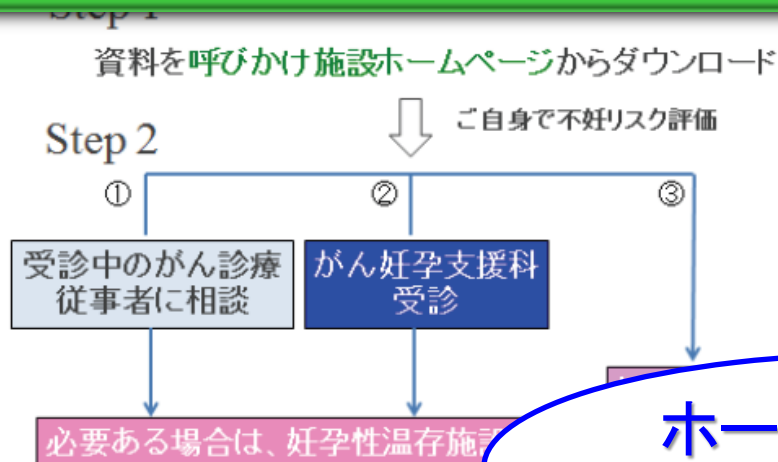
ネットワークの概要

ネットワークの特徴

ネットワークのご利用方法

がん診療の進歩によりその治療成績は向上し、がんを克服した患者さん（がん生存者）が増えています。これは非常に喜ばしいことですが、その一方で手術、放射線照射、化学療法による影響で妊娠することが

滋賀がん生殖医療ネットワークが作成した資料



ホームページより
ダウンロード可

◆共有する資料

- ①説明用DVD ②問診票 ③患者用リーフレット
- ④医療者用リスク分類表
- ⑤医療者用妊孕性温存のためのアルゴリズム
- ⑥がん妊孕支援科一覧 ⑦妊孕性温存施設および診療内容一覧

けではありません。患者さんの病状等により妊孕性温存が適さない場合もあることはお含み下さい）。

なお、がん・生殖医療および滋賀がん・生殖医療ネットワークのご理解を深めていただくために「OF-NETがん・生殖医療ネットワーク説明用DVD」の音声入り画像をご用意しました。ダウンロードしてご視聴ください。（ご視聴いただいた方は、ofnshiga@belle.shiga-med.ac.jp までご意見をいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます）

患者さん用資料ダウンロードはこちらからどうぞ

- [がん治療と妊孕性について](#)
- [登録施設一覧表](#)
- [OF-Net がん・生殖医療ネットワーク説明用画像](#)

がん診療従事者がネットワークを利用される場合

教育・啓発用の作成中資料

- ①説明用DVD
- ②説明用スライド

日本・がん生殖医療学会のホームページから
自由にダウンロードできる

今後のタイムスケジュール

2017年度

6月

7月

9月

10月

2018年

1月

スライド試作

生殖小班を
中心に意見

意見
により
修正

音声
入力

日本・がん
生殖医療学
会ホーム
ページに
アップ

最終資料の
作成
日本・がん
生殖医療学
会ホーム
ページで
公表

滋賀県内の効率的な 教育・啓発方法の考案

厚生労働科学研究および滋賀県事業として

ネットワーク内での がん生殖医療に関する情報の流れ

呼びかけ施設
滋賀医大

DVDなどがん生殖医療に関わる
資料を作成

- ・一般的な知識
- ・患者さんへの対応

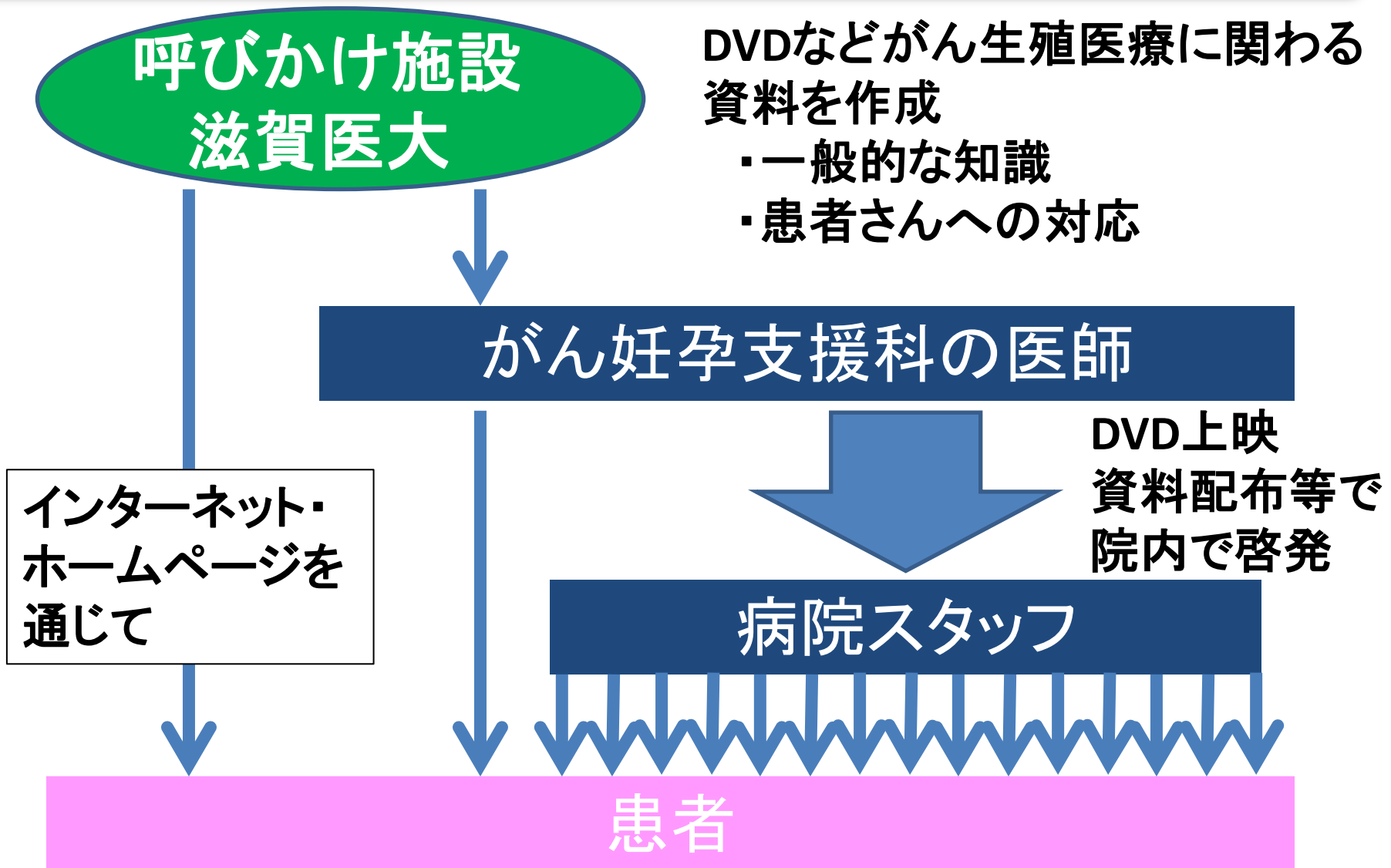
がん妊孕支援科の医師

インターネット・
ホームページを
通じて

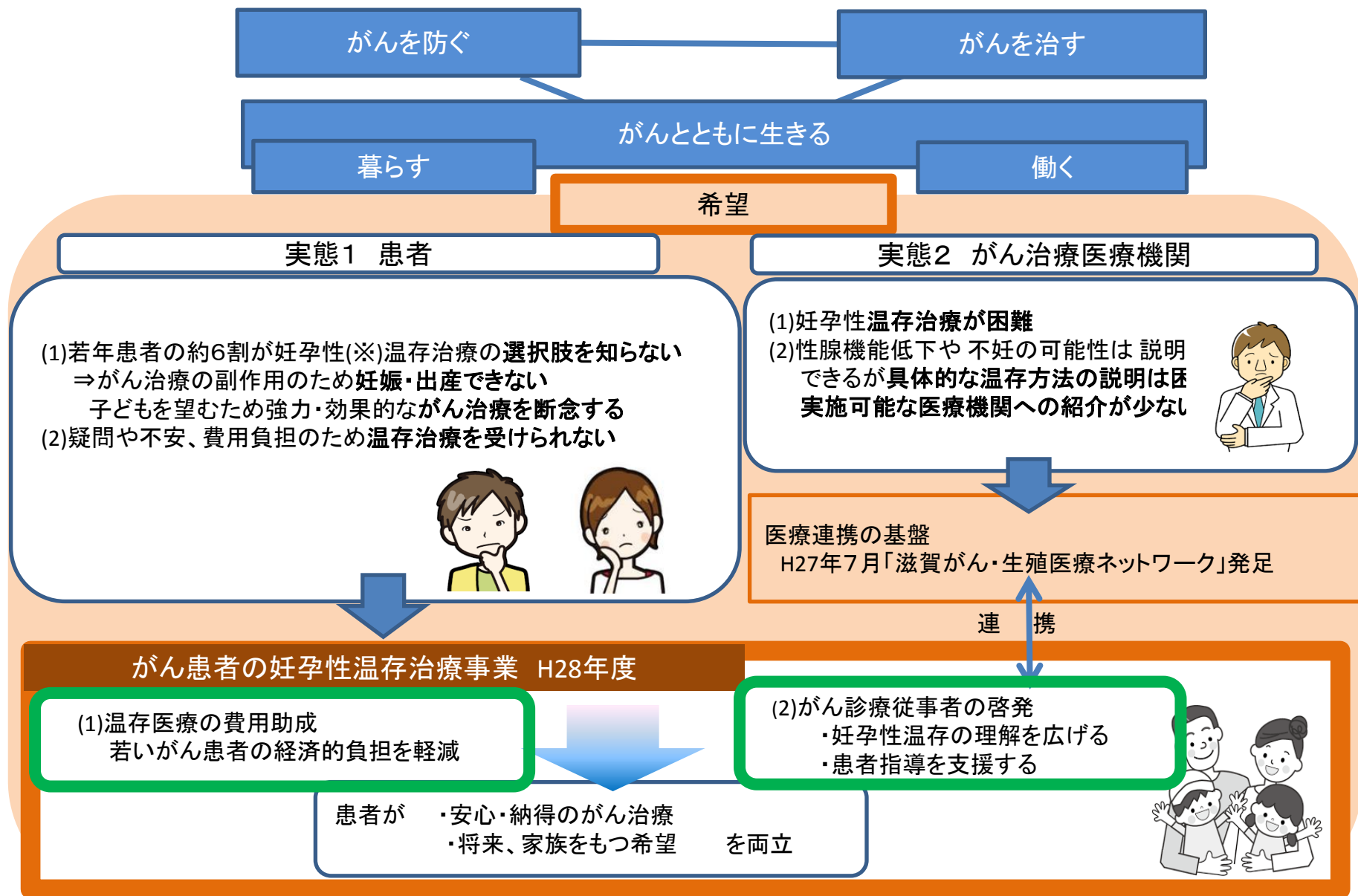
DVD上映
資料配布等で
院内で啓発

病院スタッフ

患者



平成28年度「がん患者の未来の家族計画応援事業」



平成28年度「がん患者の未来の家族計画応援事業」

2) がん患者の妊孕性温存のための普及啓発事業【滋賀医大産科婦人科学講座委託】

(1) がん治療医療機関従事者向け

①個別対応 がん治療医療機関からの相談に対応（案件ごと随時）

対象者 がん治療機能を有する医療機関の従事者

実施時期 通年

相談窓口 滋賀医大産科婦人科学講座

②研修会 がん治療医療機関ごとに実施

対象者 がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、地域がん臨床病院計 13 か所、その他の医療機関従事者

実施方法 滋賀医大ががん治療医療機関の院内研修会等へ講師を派遣

役割分担 がん治療医療機関：研修会の場の設定、参加者確保

滋賀医大：講師派遣、資料作成・印刷（細部は双方で調整）

実施時期 平成 28 年 4 月～ 9 月にがん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、地域がん診療病院計 13 か所にて各 1 回実施

がん妊孕支援科と研修会を施行した施設

赤色：がん診療連携拠点病院

高島市民病院
産婦人科

滋賀県立成人病センター
婦人科・泌尿器科

草津総合病院
泌尿器科・産婦人科

大津赤十字病院
泌尿器科・産婦人科

大津市民病院
泌尿器科・産婦人科

滋賀医科大学附属病院
泌尿器科・女性診療科

(2016年4月1日現在)

長浜赤十字病院
産婦人科

市立長浜病院
放射線科・泌尿器科・
産婦人科

彦根市立病院
泌尿器科・産婦人科

近江八幡市立総合医療センター
泌尿器科・産婦人科

東近江医療センター
泌尿器科・産婦人科

日野記念病院
泌尿器科・乳腺外科

甲賀病院
泌尿器科・産婦人科

甲南病院
放射線科・外科

済生会滋賀県病院
泌尿器科・産婦人科

研修会 がん治療医療機関ごとに実施

4月21日－12月7日

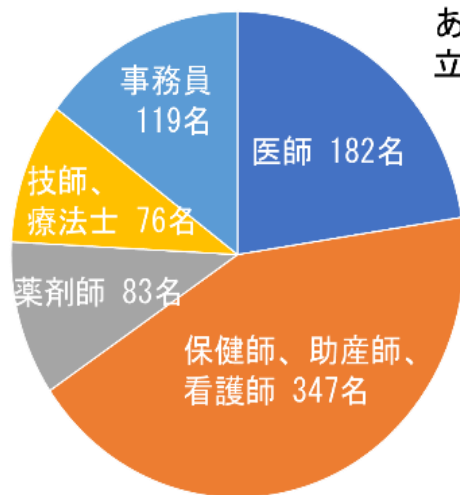
13施設 14回

938名

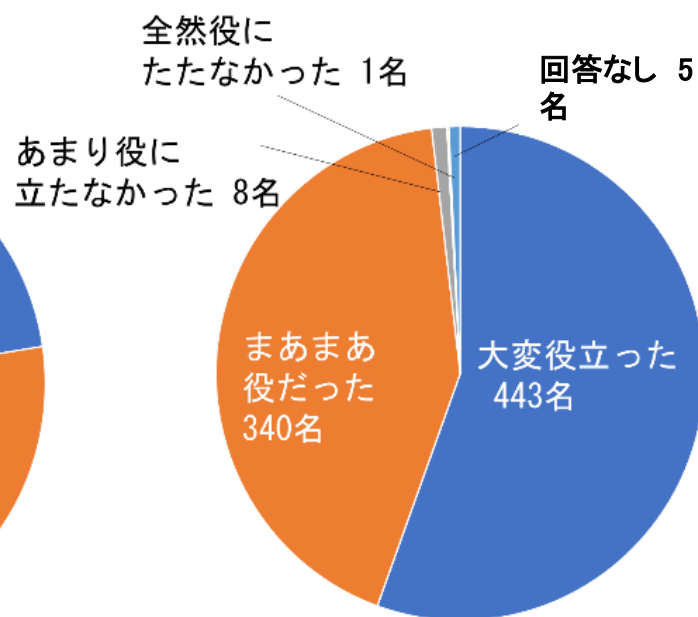
施設名	日時	参加者
滋賀県立成人病センター	4月21日	44
長浜赤十字病院	5月16日	86
滋賀医科大学医学部附属病院	6月1日	136
彦根市立病院	6月9日	60
大津赤十字病院	6月15日	96
長浜市民病院	7月7日	62
甲賀病院 1回目	7月13日	22
近江八幡総合医療センター	7月19日	44
大津市民病院	8月10日	94
東近江総合医療センター	8月12日	67
高島市民病院	9月7日	67
済生会滋賀県病院	9月9日	62
草津総合病院	10月19日	44
甲賀病院 2回目	12月7日	54
合計		938

滋賀県事業アンケート調査の結果

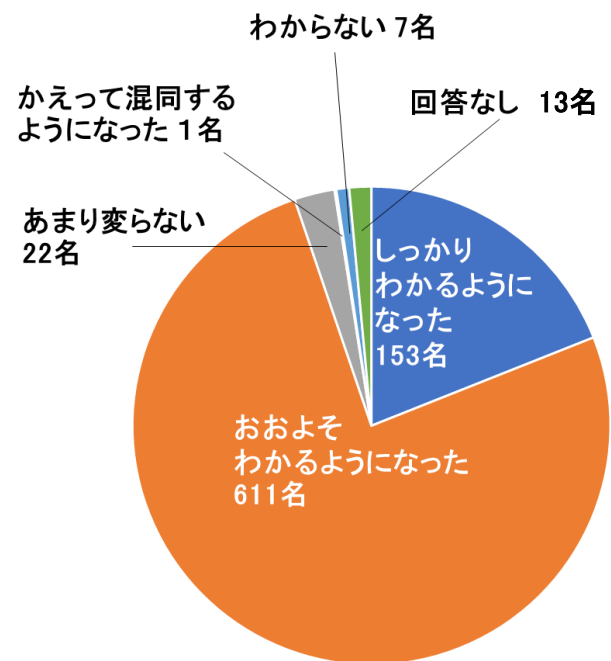
アンケート 参加者数



研修会の有用性・ 満足度



がん患者への 対応方法の理解



アンケート
回収 807名

がん患者へ情報提供を行うための流れを単純化する必要がある

がん相談支援センター

がん治療医療機関ごとに実施した
研修会において
がん相談支援センターの担当者が
研修会開催に非常に熱心であった

平成29年3月23日
滋賀県がん診療連携協議会

平成29年度
「がん患者の未来の家族計画応援事業」案

がん患者への妊孕性温存に関する情報提供について

滋賀医科大学産科学婦人科学講座 准教授
滋賀がん生殖医療ネットワーク 幹事長

木村文則

平成29年度 がん患者への妊孕性温存に関する情報提供について

女性(43歳以下)、男性(年齢制限なし)に
妊孕性温存の希望を確認する

がん治療を行う前(入院申し込み時)に
全患者は問診票を記載



妊孕性温存を希望された場合は、がん
相談窓口(支援センター)を受診



担当者より患者の妊孕性温存の意思確認と
登録(患者のその後を追跡)



必要に応じその病院の産婦人科、がん治療
担当医に連絡し、妊孕性温存施設を紹介
担当者からも一部情報提供

統一した問診票を作成し各病院
に配布

がん治療が優先、妊孕性の温
存は必ずしも適応とならないこと
を問診票にも明記

担当者に対し滋賀がん生殖医療
ネットワークが研修会
随時相談受入

期待できる効果

- がん治療者によらず、組織的に病院全体として患者への情報提供が可能となる(情報提供の抜けの防止)
- 各施設にがん生殖医療の担当者をつくることが可能となる(エキスパートを養成する)
- 滋賀県内のがん生殖医療の情報管理を行うことが可能で需要と供給の状況が明らかとなる
日本国内の人口1/100のスケールで明らかとなる
(今後の滋賀県の予算作成や国政へ提言できる資料となる)